

令和3年度計画重点項目

1. 県民からの期待に応える存在意義の高い大学

「地域貢献・教育重視型大学」実現のための大学改革を推進する。

- 島根創生に資する重要施策の全学的推進のため、「魅力化推進本部」を学長の下に設置し、大学の魅力化に向けた制度構築・改善や事業を実施する。(No. 1-1)
- 地域人材育成を目標に既存学科の見直し、新学科等の検討を行う。(No. 1-2)
- 新学部の特徴や魅力について積極的な情報発信を行うほか、連携校推薦入試の実施等により、コース毎のアドミッションポリシーに即した意欲的な学生を募る。(No. 4)

2. 地域に貢献する人材を輩出する大学

高大連携の強化とともに、県内企業や行政と連携した地域の担い手となる人材の県内定着への取組みを推進する。

- 高校からの連携依頼に応え、高校からの大学への学びの連続性を確保するために、県内の高校・特別支援学校・県教育委員会と連携・協働しながら、「高校の課題解決型学習等を促進するための様々な支援」及び「県立高校が構築する「高校魅力化コンソーシアム」へ参加・助言等」の2点を軸に取組をより一層加速させる。(No. 26)
- しまね産学官人材育成コンソーシアムの枠組み等を活用し、地元企業や自治体と連携しつつ、学生が自らのキャリア形成上の課題を知る企画に取り組む。(No. 44-1)
- 企業奨学金の創設、長期・有償型インターンシップの検討を行う。(No. 44-3)

3. 地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

研究成果を教育や地域に確実に還元する取組みとともに、関係機関と連携した地域の課題解決に向けた取組みを推進する。

- しまね地域国際研究センターを新設し、島根県が抱える地域及び国際的な課題に関する研究の助成金制度を拡充して公募を行い、「KENDA I 縁結びフォーラム」において研究成果を地域に還元するとともに、自治体、県内企業、NPO法人、中山間地域研究センター等の各機関との連携を強化する。(No. 50)

4. 国際交流・海外留学等の促進

国際交流事業を通じたグローバル（グローバル）人材育成の促進を図る。

- ロシア国立ゲルツェン教育大学と協定を締結し、より充実した研修プログラムの整備を行う。また協定校（アメリカ・ワシントン州立セントラルワシントン大学）が実施するバーチャル留学参加への事前準備と事前指導を実施する。(No. 29-3)
- 全キャンパスにおける留学希望者への支援や、海外実践活動支援制度「グローバルドリームハント」等、オンラインを含めた学生の各種プログラムへの参加の呼びかけと支援を強化する。(No. 29-4)

5. 理事長・学長のリーダーシップのもと機動的かつ戦略的な運営を行う大学

- 島根創生に資する重要施策の全学的推進のため、「魅力化推進本部」を学長の下に設置し、大学の魅力化に向けた制度構築・改善や事業を実施する。(No. 1-1)
- IR室において、引き続き入試や教育研究、就職等の情報を収集・分析・評価することにより、戦略的な大学運営を行う。(No. 31)